

平成30年度 第2回女川町地域公共交通会議 議事録

1. 日 時：平成30年11月14日（水） 13：30～15：00
2. 場 所：女川町役場庁舎 3階小会議室
3. 議 事：(1)町民バス運行内容の改正案について（12月実施予定）
(2)女川町地域公共交通網形成計画策定に係る各種調査結果の報告について
(3) その他
4. 閉会

■議事概要

(1)町民バス運行内容の改正案について（12月実施予定）

○事務局からの説明後、以下のような議論をおこなった。

委員A 宮ヶ崎地区にバス停を1つ追加となっているが、石浜地区からはバス停追加等の要望はありませんでしたか。

事務局 石浜地区からは、特に要望はございませんでした。

委員A 宮ヶ崎地区周辺の具体的な運行ルートを教えて下さい。

事務局 指ヶ浜から町内中心部に向かう場合は、石浜団地から宮ヶ崎集会所前を通過して宮ヶ崎団地に上がり、来た道に戻って、電力アパートの方に下がっていくルートになります。

町内中心部から指ヶ浜に向かう場合は、電力アパートに寄り、宮ヶ崎集会所前を通過して宮ヶ崎団地へ上り、来た道に戻って、石浜団地へ向かうルートになります。

委員A このルートではドライバーさんが大変ではないか。今度供用開始となる道を通った方が、距離が短くなり、楽なのではないか。

事務局 今度供用開始となるルートを通り、走行距離の短縮を優先した場合、宮ヶ崎団地から電力アパート前に向かう際に道幅が狭く、急こう配の道を通るルートとなってしまいます。これから冬場を迎え、雪道を走行するということもあるので、今回提示させていただいている運行ルートは安全面を第一に考えたものとなっております。

委員A 役場と黄金タクシーさんで摺り合わせた結果なのか。

事務局 事前に黄金タクシーさんに相談をさせていただき、承諾をいただいております。電力アパート前に寄らなくても良ければ、ご提案いただいたルートで運行したいところなのですが、電力アパート前に寄る場合は、安全面を考慮し、このルートで走行せざるを得ない状況です。

委員A 運行側で承諾しているのであれば、大丈夫です。

委員B 改正にあたり、安住・清水便のフリー乗降区間の追加等、利用者への周知方法はどのように考えているのか。また、フリー区間内の利用者は今までどのくらいいるのか。そして、新しい設定ルートや停留所についての安全面はどうなっているのか、ご回答下さい。

事務局 フリー区間の利用者については、該当の地区でグループヒアリングを実施し、確認したところ、利用者はかなり少ないとのことでした。周知については、広報等で周知をかけたいと考えています。新しいルートや停留所の安全確認については、石巻警察署の交通課、役場関係部署に確認をし、問題ないとの回答をいただいております。

委員B フリー区間の利用者はほとんどゼロに近いのですか。

事務局 はい、1人乗車している位とのことでした。

(2) 女川町地域公共交通網形成計画策定に係る各種調査結果の報告について

○事務局からの説明後、以下のような議論をおこなった。

委員B 課題解決に向けた対応方針（案）に「目標1-2「乗継拠点」に位置付けるJR女川駅等での交通需要の集約を目指す」とあり、「JR女川駅を拠点化して乗継ぎ等を考えていきましょう」ということのようにですが、一方で町民アンケートの6頁、JRの利用頻度の結果では「ほとんど利用しない」との回答が最も多い結果となっています。乗り継ぎを考える必要があるのか、疑問に思います。

乗り継ぎのために時間を合わせることは、一般的な考えであり、このアンケート結果には出ていない町民のニーズに対応しようとしているのだとは思いますが、アンケートの結果と計画案が合致していないのではないのでしょうか。

事務局 アンケート結果では車を使う人の回答がそれなりの割合を占めているため、「JRを利用しない」という回答が多く見られる部分もあるかと思えます。

また、実際にJRを使っている人の多くは、石巻の学校に通う高校生ですが、町民アンケートの回答の中に高校生の票はほとんどありません。しかし、大体の学生が家から駅までを親に送迎してもらい、JRで通学しているということは事務局でも把握できているので、JRに町民バスを接続させ、親の送迎なしでも高校に通えるという環境を作っていきたいと考えております。

女川駅を交通拠点、乗り継ぎ拠点としていきますが、必ずしもJRとの乗り継ぎだけを考えるのではなく、町民バスとミヤコーバスの乗り継ぎや町民バス同士の乗り継ぎができる場にしていきたいという意味合いでも、女川駅を中心拠点にしたいと考えておりました。

委員B 高校生のニーズというのは、あくまでも定性的なものであって、アンケートをとったという事ではないのですね。町民からそういった話を聞くことは多いのですか。

事務局 グループインタビュー調査の際などに話を聞いています。
特に離半島部については、グループインタビューで民生委員さんにお話を伺ったり、高校生の保護者の方からも直接お電話で意見や要望をいただいております、ある程度のニーズは把握できていると考えております。

(3)その他

委員B 今後のスケジュールについて教えてください。

事務局 1月中旬から下旬に第3回目の会議を開催予定です。地域公共交通網形成計画の素案をお示しさせていただいて、審議をいただきたいと思っております。また、利用者アンケート調査（毎年行っているバス運行に関する評価）の結果報告も併せて行いたいと考えております。

3月には第4回目の会議を開催し、計画の承認をいただきたいと考えております。

会長 12月17日からのダイヤ変更に向けて、手続き等を進めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

以上